

みりの1年

(年間行事)

2017

4月

- 4/7 新任・始業式
- 4/10 入学式
- 4/11 給食開始(2~6年)
- 4/13 給食開始(1年)
- 4/14 山交バス乗り方指導(1年)
- 4/18 全国学力・学習状況調査(6年)
県学力等調査(5年)
- 4/19 身体計測
- 4/20 交通安全教室(2年)
- 4/24 交通安全教室(1年)
- 4/28 学習参観
PTA総会
PTA歓迎会

5月

- 5/2 1年生を迎える会
新理事評議員会・PTA専門部会
- 5/19 開校記念式・チャレンジ記録会

6月

- 6/1 学習参観・教育課程説明会
- 6/6 市陸上運動記録会(6年)
プール清掃
- 6/13 音楽鑑賞教室(下学年)
- 6/15~16 公開研究会
- 6/27 みりの遠足

7月

- 7/5 音楽鑑賞教室(上学年)
- 7/9 市P連研修大会
- 7/13~14 宿泊学習(4年)
- 7/19~21 宿泊学習(5年)
- 7/20~25 水泳学習発表会(1~6年)
- 7/20 市水泳記録会(6年)
- 7/26~8/23 夏季休業

8月

- 8/19 学校説明会

9月

- 9/9 みのりスポーツフェスティバル

10月

- 10/6 前期終業式
- 10/10 後期始業式
- 10/13 自然体験学習(3年)
- 10/17 みりの登山
- 10/26~27 東北附連(岩手)

11月

- 11/9 教育研究協議会
- 11/13 小中合唱交流会
- 11/15~17 修学旅行(6年)
- 11/25 フリー参観
PTAレクリエーション大会

12月

- 12/23~1/8 冬季休業

2018

1月

- 1/19 雪上教室(1年)
- 1/22 雪上教室(2年)
- 1/24 スキー教室(3・4年)
- 1/25 スキー教室(5・6年)

2月

- 2/2 学習参観
学級懇談会
- 2/23 6年生を送る会
- 2/28 PTA専門部会反省会

3月

- 3/2 同窓会入会式(6年)
- 3/6 みりの班解散式
- 3/17 修了式
- 3/19 卒業証書授与式
- 3/26 お別れの会(離任式)

校歌

作詞 神保光太郎
作曲 佐治恒夫

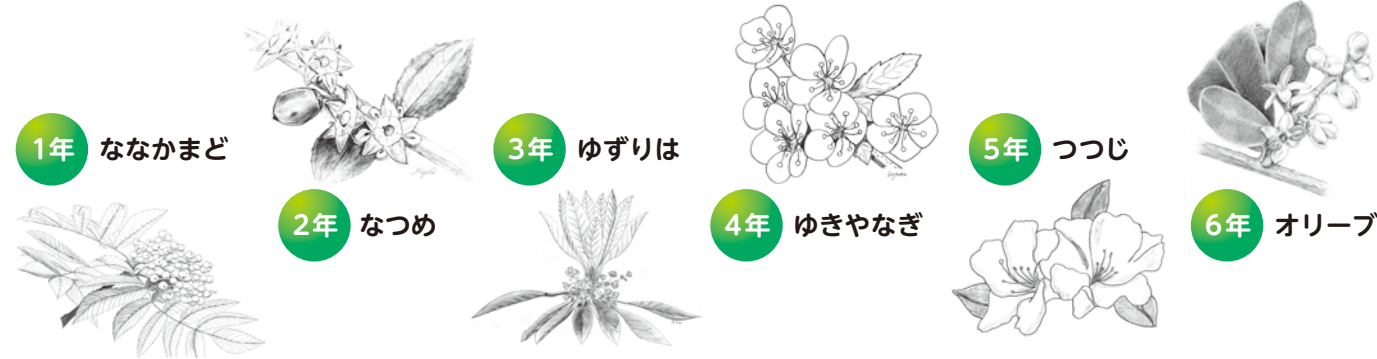
朝だ 朝だよ 輝く朝だ
太陽の子われら 希望に燃えて
すくすくのびる ラララ ラララ
われら ひかりの山形附属

山だ 山だよ 蔵王の山だ
北国の子われら あらしに負けず
たゆまず学ぶ ラララ ラララ
われら ちからの山形附属

花だ 花だよ さくらの花だ
日本の子われら 足なみそろえ
未来をひらく ラララ ラララ
われら ほまれ山形附属



学年の木



Map



山形大学附属小学校 学校要覧 2017

<http://www.yamagata-u.ac.jp/sho/>

〒990-0023 山形市松波二丁目7-2
TEL:(023)641-4444 FAX:(023)641-8594
E-mail: minori@fusho.yamagata-u.ac.jp

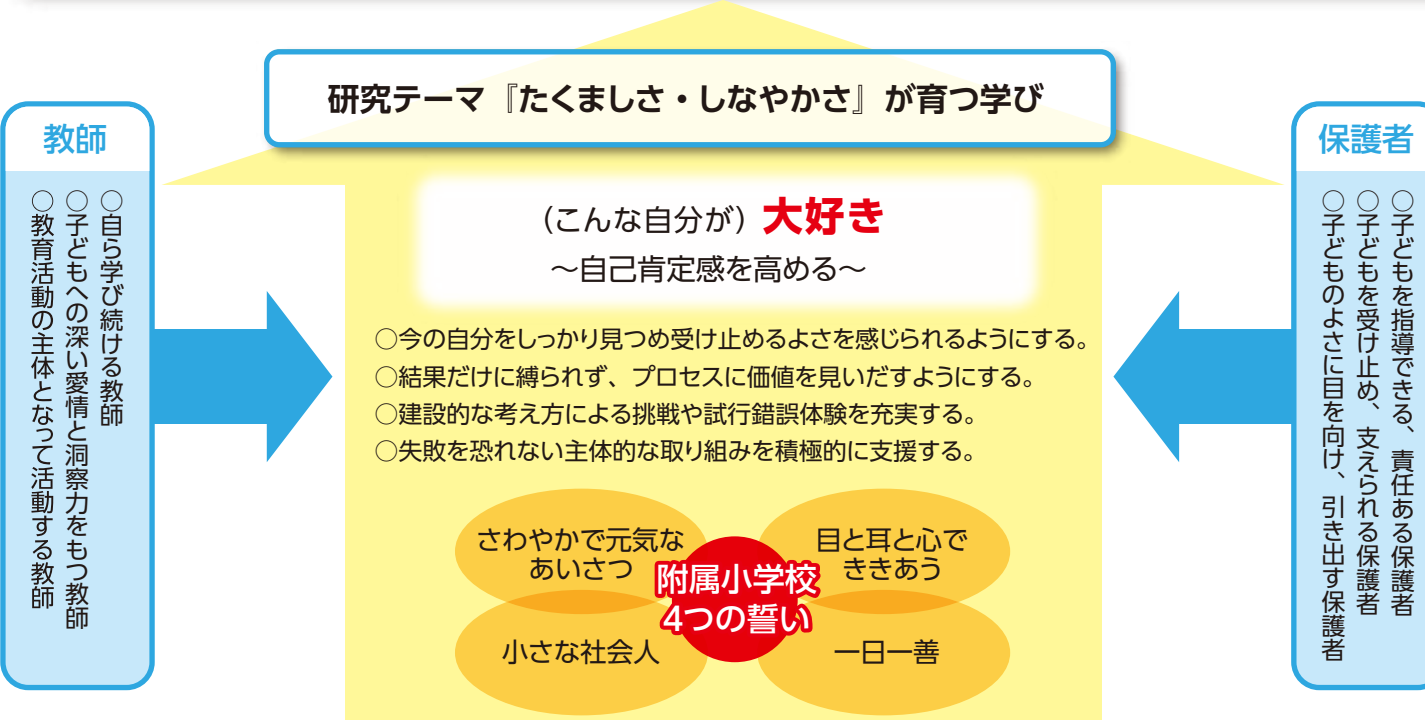


学校教育目標

『太陽の子』 本質を見極める
『北国の子』 強い意志をもつ
『日本の子』 高い価値をめざす

めざす子どもの姿

常に希望に燃え、創造力豊かな子ども
困難に打ち勝ち、強い心と体をもつ子ども
日本人として誇りをもち、たゆまず学ぶ子ども



附属小学校における教育の基盤

山形大学を核とした連携体制

- ・附属幼・中・特別支援学校との連携
- ・大学教員の専門的支援
- ・ALT、SC等各専門家の配置
- ・道徳・環境教育・英語教育充実のための教員配置

地域の教育力の積極的な活用

- ・保護者会と協働で進める教育活動
- ・同窓会による教育への支援

児童数

学年	学級	男子	女子	合計
1	3	53	45	98
2	3	50	48	98
3	3	49	46	95
4	4 (3+複式)	49	51	100
5	3	51	48	99
6	3	44	55	99
合計	19	296	293	589

週日課表

時間	月	火	水	木	金
～ 8:30	登校・着替え・準備				
8:30～ 8:55	朝学習・朝の会	朝学習・朝の会	朝学習・朝の会	全校朝会(毎年清明朝学習・朝の会)	朝学習・朝の会
8:55～ 9:40	●	●	●	●	●
9:45～ 10:30	●	●	●	●	●
10:30～ 10:50	休 み 時 間				
10:55～ 11:40	●	●	●	●	●
11:45～ 12:30	●	●	●	●	●
12:30～ 13:15	給 食				
13:15～ 13:50	昼休み・清掃	みのり班活動	昼休み・清掃	しごと5・6年(学級清掃)	昼休み・清掃
13:55～ 14:40	●	●	◎2～6年	●	●
14:40～ 14:45	終わりの会				
14:45～ 15:30		◎3～6年		◎5～6年	◎4～6年
15:30～	終わりの会				

●1～6年の授業 ◎該当学年の授業

●登校 = 朝 7:50～8:15
●全校朝会 (年間6回 木曜日)
●朝の会での学習タイム
●年間を通じて35時間実施 年間15分×105回確保 (1年生は、34時間)
●みのり班活動 = 13:25～13:50
●クラブ活動(4～6年)
●2時間扱い 14:00～15:30
●[しごと]の時間
●木曜日の清掃時間 13:35～13:50
●代表集会 (3～6年の代表が参加) 月曜日か水曜日の6校時に設定 15:00～15:45
●清掃(縦割り) = 13:35～13:50
●学級清掃 = 13:35～13:50
●簡単清掃(クラスごと) ※しごと(5・6年)のとき 放課後: 弦楽・合唱の活動

下校時刻 低学年 15:30 中・高学年 16:00

『たくましさ・しなやかさ』が育つ学び 研究の構想

〈研究主題〉『たくましさ・しなやかさ』が育つ学び

子どもは本来豊かな存在であり、『たくましさ・しなやかさ』をもっているとらえている。子どものもつ豊かさに培い、それらが育つ学びの在り方について研究していく。

学びの在り方について

〈子どもが学ぶとは〉
事象の価値をさぐり、自分の「とらえ」を更新していくこと
〈子どもの学びを支えるために〉
「子ども理解と洞察」を根幹とし、「子どもの問題解決」の授業づくりを行う。

◇子ども理解と洞察

- ・子どもがこれまでにどのような経験をしてきているのか。
- ・子どもが、「人・もの・こと」さらに「自分」について、現在どのようなとらえをしているのか。
- ・現在の子どものとらえが、今後どのように更新される可能性があるのか。

◇子どもの問題解決

- ・学習材の見極め(教材性と可能性の吟味)
- ・授業における子どもの洞察
- ・子どもが学びのよさを実感すること

子どもと学習材の双方から、各教科・領域等の本質に迫る 個々の子どもの問題解決の成立を目指して検討していく。

さまざまな問題との出会い

くらしにおける問題解決・授業における問題解決
よりよい自分になるために、今の自分を見つめ、問題を明確にして最善の方法を見定め行動していく一連の歩み。

教員一覧

佐藤 昌彦 校長	青柳 孝一 3年3組 社会・タイム	村山 理香 特別支援教育コーディネータ
金子 孝宏 教頭	井上 麻子 3・4複 国語・外国語	小松 愛美 メンタルケアコーディネータ
武田 重泰 教務主任 理科・道徳	江波 大 4年1組 タイム・生活	中村 久美子 図書事務
奈良崎 芳晴 主幹教諭 算数・特活 担当(2年付)	鈴木 譲二 4年2組 社会・生活	五十嵐 玲 まつなみ学習支援員
渡邊 弘晶 担当(1年付) 理科・生活	嵐田 史子 4年3組 音楽・道徳	太田 優 スクールカウンセラー
長岡 初美 担当(6年付) 音楽・特活	安孫子 力也 5年1組 国語・タイム	
畠 中雄紀 担当(5年付) 外国語・算数	軽部 隆一郎 5年2組 体育・外国語	
池田 美由紀 1年1組 体育・特活	清野 真美子 5年3組 国語・道徳	
渡邊 倫子 1年2組 国語・家庭	早坂 和重 6年1組 算数・図工	
神保 諒一 1年3組 生活・道徳	元木 徹 6年2組 理科・タイム	
逸見 裕輔 2年1組 道徳・算数	川田 大 6年3組 算数・道徳	
相澤 明菜 2年2組 国語・外国語	鈴木 恵子 養護教諭 保健	
荒垣 靖 2年3組 図工・特活	江口 知子 栄養教諭 食育	
青山 詩織 3年1組 家庭・特活	鈴木 崇 担当(4年付) 音楽	
中川 裕幸 3年2組 道徳・社会	鬼海 康博 担当(3年付) 社・理・図	

教育実習の目的

教育実習は、学校教育における教科・道徳・外国語活動・特別活動・総合的な学習の時間、生活指導、学級経営、学校運営及び地域社会との関係などの多様な実践的体験を通じて、教育理論や教育実践の実地研究に取り組み、学校教育の実態や問題点の把握及びその解決方法の習得を期して行う。

本校は、大学の附属校として、上記の目的を達成するために、その任務を積極的に遂行していく。

教育実習

- ◎教育実践基礎実習(2年次) A班: 8月28日(月)～ 9月 1日(金) B班: 9月 4日(月)～ 9月 8日(金)
- ◎教育実践実習(3年次) 8月28日(月)～ 9月15日(金)
- ◎教育実践実習(4年次) 8月28日(月)～ 9月15日(金)
- ◎養護教諭特別別科実習 8月28日(月)～ 9月15日(金)
- ◎学校栄養教育実習 6月19日(月)～ 6月23日(金)
- ◎教職専門実習I(教職大学院) 6月19日(月)～ 7月 7日(金)
- ◎教職専門実習II(教職大学院) 10月10日(火)～ 11月 7日(火)

その他
科目等履修生実習(2週間)
栄養士臨地実習(2週間)

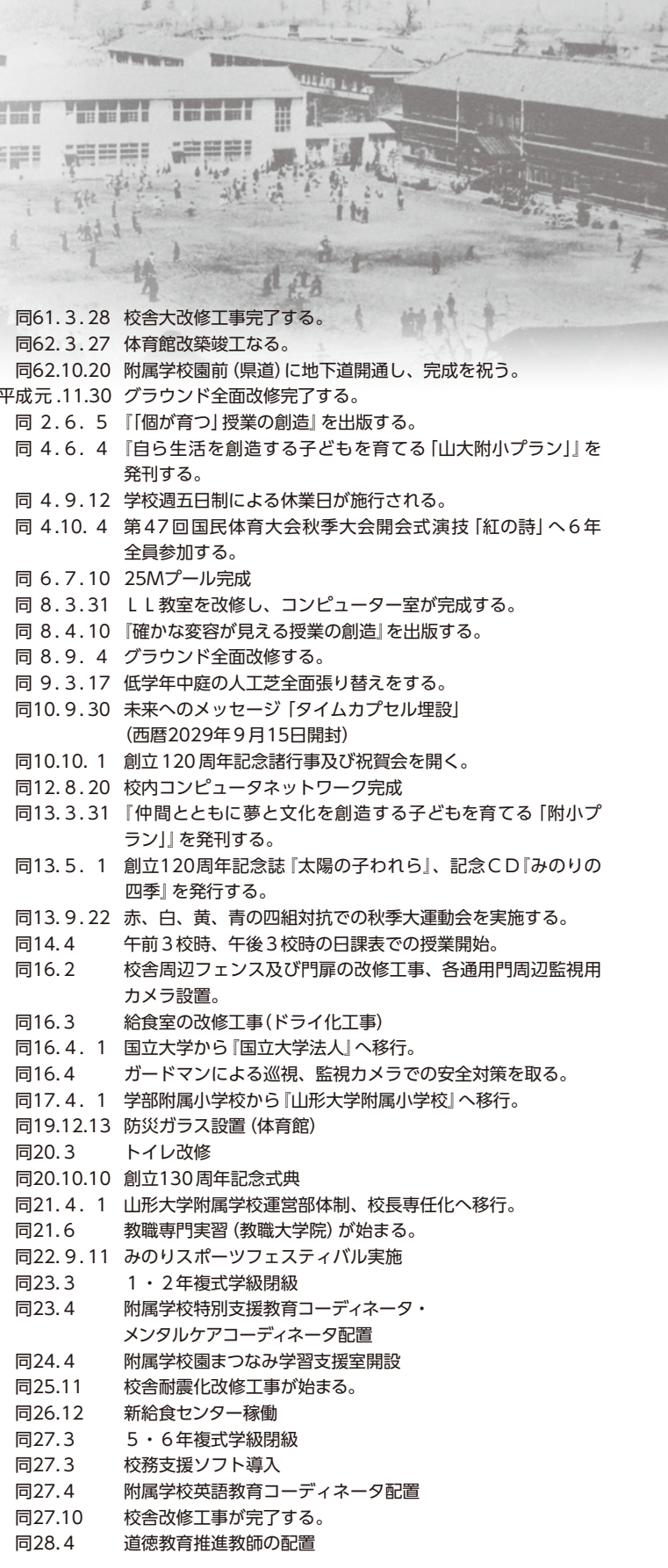


教職員一覧

渡辺 千明 臨時用務員	石井 滋 事務室長
那須 久三子 PTA 事務	高橋 弘美 事務係長
中村 久美子 図書事務	笹 智子 事務主任
保科 博喜 派遣職員	関野 恵美子 事務専門職員
法身 繁三 派遣職員	安部 裕美 調理師
	佐藤 洋子 事務補佐員
	清原 朋子 臨時用務員
	千葉 昭子 臨時用務員
	折原 麻美 臨時用務員

沿革

- 明治11.10.1 山形市香澄町、七日町両校の児童360名を入学させ、旅籠町に山形県師範学校附属小学校を開設する。
- 同33.4.8 校舎を六日町(現緑町二丁目)に移す。
- 同36.5.1 山形市第一小学校校舎の一部および尋常科5学級を借り受けて、山形県女子師範学校附属小学校を開設する。
- 同37.4.1 女子師範学校寄宿舎の一部を使用して、尋常科および高等科女子を募集する。
- 同38.12.25 香澄町横町南(現十日町一丁目)に女子師範附属小学校の独立校舎が落成する。
- 同41.4.1 尋常科の修業年限を6カ年に延長し、高等科の修業年限を2カ年に改める。
- 大正14.10 皇太子殿下が、女子師範附属小学校で教育実習生の授業を御覧になる。
- 昭和16.4.1 国民学校制の施行に伴い、小学校をそれぞれ山形県師範学校附属国民学校、山形県女子師範学校附属国民学校に改称する。
- 同18.4.1 師範学校の官立移管に伴い、それぞれ山形師範学校男子部附属国民学校および女子部附属国民学校と改称する。
- 同22.4.1 学制改革に伴い、国民学校を小学校と改称する。また、それぞれの高等科をもって附属中学校を創設し、これを併置する。
- 同24.4.1 附属小学校P・T・Aが発足する。
- 同24.7.15 学制改革に伴い、それぞれ山形師範学校第一および第二附属小学校となる。
- 同26.4.1 新制大学制度の実施に伴い、両附属小学校を統合し、新築校舎落成とともに、十日町に山形大学教育学部附属小学校として発足する。5月20日を開設記念日と定める。
- 同27.8.3 旧制第一、第二附属小学校同窓会を統合し、新たに山形大学教育学部附属小学校同窓会として発足し、第1回総会を開く。
- 同28.4.1 1・2年複式学級を併設する。
- 同29.10.28 附属小学校校歌を制定する。
- 同29.10.30 附属中学校敷地内(現山形市民会館)に附属学校プールを新築する。
- 同31.4.1 3・4年複式学級1学級を増設し複式2学級とする。
- 同36.4.11 標準服を制定し新入児童に着用させる。
- 同37.8.21 体育館を十日町に新築落成する。
- 同43.4.1 普通・複式・特殊各一学級増。5月10日特殊学級開級となる。副校長制を採用する。
- 同44.3.11 新営校舎で授業を開始する。スクールバスの運行を始める。
- 同44.5.10 附属幼稚園・小学校・中学校の新営校舎落成式を行う。
- 同44.11.28 附属第2プールの新築落成なる。
- 同44.5.12 附属校園給食センターを開設し、小学校の給食を開始する。
- 同44.10.26 グラウンド整備をほぼ完了し、祝賀大運動会を行う。
- 同44.11.18 附属幼稚園・小・中学校の完全給食を開始する。
- 同45.8.30 中庭みのり園の移転復元工事を完了する。
- 同46.9.1 校地北側に池(ひょうたん池)を造成し、工事完了する。
- 同49.4.1 養護学校の独立により普通18、複式3、計21学級となる。
- 同49.9.26 小学校課程3年次学生の教育実習が始まる。
- 同50.10.1 研究図書「授業過程の基本型と展開」を出版する。
- 同53.6.20 百周年記念事業の一環としてオーケストラの楽器購入。オーケストラを編成する。
- 同53.10.1 創立百周年記念諸行事並びに祝賀会を開く。
- 同55.4.28 創立百周年記念碑の除幕式を行う。
- 同58.3.28 2棟の校舎(1,118m)の増築落成なる。
- 同59.5 「自己実現をめざす子どもを育てる山大附小プラン」の発行(低・中・高3分冊)。
- 同60.5 「自己実現をめざす子どもを育てる-「充実」した学校生活の創造-」を出版する。



研究のあゆみ

- 昭和44～46 授業の組織化による子どもの変容
- 昭和47～50 学力の創造と授業過程
- 昭和51～54 自己表現をめざす子どもの育成
- 昭和55～59 学校生活における「充実」の探究
- 昭和60 子どもが「充実」する授業の創造
- 昭和61～平成7 自ら生活を創造する子どもの育成
- 平成8～平成15 仲間とともに夢と文化を創造する子どもの育成
- 平成16～平成23 自ら学びをもとめ続ける子どもの育成
- 平成24～平成28 学び続ける子どもの育成
- 平成29～ 「たくましさ・しなやかさ」が育つ学び